

令和4年12月5日（月）

千代田区長 樋口高顕 様

令和5年度予算要望

公明党議員団
幹事長 米田和也
大串博康

SDGsを基本に千代田の新時代へ

今、私たち人類は地球に対してこれまで地球1.7個分の負荷をかけながら何を果たしたのでしょうか。逆に、環境面からは地球の温暖化や生物多様性の喪失、また新たな感染症の発生、さらに経済・社会面からは貧困と格差の拡大、また飢餓の拡大など未曾有の危機にを招いてしまったといえます。このような危機に対して日本を始め世界はSDGsという「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現を目指し行動を開始しました。SDGsはまさに危機の時代の羅針盤であります。

そこで、区民の命と健康、生活を守るためSDGsを区政運営の基本に据え「千代田の新時代」を構築されることを要望します。具体的には次ページ以降SDGsの目標ののっとり各事業項目を要望いたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの目標	事業項目
3 すべての人に健康と福祉を 	[1] 新型コロナ対策 1) 新型コロナワクチンの接種を確実かつ円滑に実施すること 2) 第8派に備え、検査キットの配布や自宅療養者に対する施策拡充など感染防止及び重症化防止対策を拡充すること 3) 保健所機能のハードソフト含めた拡充 [2] 物価高騰対策 1) 「再エネ可能エネルギー100%電力切替促進事業」の大幅拡充として協力していただいた家庭へ協力金を支給すること 2) 国は低所得世帯への5万円の給付を行ったがさらに区独自に対象世帯の拡大と給付金の上乗せを行うこと 3) すべての区民に対して物価高騰に対する支援となるような消費下支え事業の実施
11 住み続けられるまちづくりを  13 気候変動に具体的な対策を 	[3] 防災対策 行政主体の防災対策から住民主体の防災対策へ 1) 防災ラジオの配布対象者の拡大 2) 災害用トイレトレーラーの設置（新規） 3) 地域が自ら発意し作成する「地区防災計画」及び「コミュニティタイムライン」、「マイタイムライン」への支援（継続） ①防災士もしくは防災アドバイザーを派遣しての作成支援（新規） ②モデル地区を定めての地区防災計画作成支援（継続） ③作成のための講習会の開催（新規） ④作成のためのハンドブック（手引き）の作成（新規） ⑤作成に要する費用の補助（新規） 4) 親子版防災手帳の作成と配布（新規） 親子で対話しながら作成する「親子版防災手帳」の作成（親子で参加する「みらいの防災リーダー養成講座」の際、配布できるようにする） 5) 避難行動要支援者対策の拡充（個別計画の策定）
8 働きがいも経済成長も  9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	[4] 人間中心のSociety5.0の推進 1) ちよだSociety5.0構想の策定 2) モデル地区を定めてのちよだスマートシティの推進
4 質の高い教育をみんなに  10 人や国の不平等をなくそう 	[5] 子ども支援・親支援・子どもと親との関係性への支援 1) オンライン学習ができるよう体制を万全にすること 2) アイポートの行っている「ひろば」、「一時預かり」、「子育て支援員養成講座」の継続 3) 教室の確保また図書室やコンピュータールームを確保すること 4) 子どもの権利を守るための第三者による権利擁護機関の設置。また、権利擁護機関の役割や権限などを定めた仮称「子どもの権利擁護機関設置条例」の制定（継続） 5) 幼稚園での給食を通しての食育の実施（麹町、番町、九段、御茶ノ水の各幼稚園での給食の実施）（新規）

	6) 保育園や幼稚園などの園児の散歩道などでの安全確保を図ること ①キッズゾーンの設置（新規） ②警察などの関係機関と園、保護者が情報を共有すること（継続） ③園児の目線から散歩道などの総点検を実施する（継続） 7) 病児保育の実施（新規） 8) 麹町地域へ療育施設（さくらキッズ）の設置（拡充） 9) 子どもの健やかな育ちを保障するため子どもと親を総合的に支援する子どもサポートセンター（総合母子保健センター）の創設（福祉分野にも掲載）（新規） 10) 保育の質の確保 ①保育の質という面からは、大人の子どもへの関わり方が重要。その関わり方が記述された就学前プログラムの改訂と保護者版の作成（継続・新規） ②区の目指す幼児教育・保育のあり方をわかりやすく説明した千代田区版「なるほど！ちよだのほいく・きょういく」の作成（新規） ③園庭としての遊び場の確保、代替園庭としての公園の整備（継続） 11) 子どもの読書推進 12) 保育士の処遇改善（拡充） 奨学金返済支援事業補助金の拡充 13) 東京近代美術館と連携し全小学校での「対話型美術鑑賞」の実施（新規）
3 すべての人に健康と福祉を 	[6] 福祉 絆を幾重にも重ね合わせる福祉を目指して、重層的な支援体制を構築すること 1) ケアラーへの支援拡充 ①（仮称）千代田区ケアラー条例の制定（新規） ②介護保険事業計画にケアラー支援を位置付けること（新規） ③ケアラー実態調査の実施（新規） ④千代田区版のケアラー手帳を作成し配布すること（新規） 2) 認知症施策の拡充 ①認知症施策推進条例の制定（新規） ②認知症対策は喫緊の課題である。ジロールまた認知症サポーターなどと連携し地域で支えることができるよう体制を整備すること（拡充） ③家族介護者への支援（拡充） 3) 断らない相談の実施（拡充） 4) 子どもと保護者を総合的に支援する「子どもサポートセンター」の創設（新規） 5) 産後ケア事業の拡充 ポピュレーションアプローチによりリスクの高い母親を探し出し支援につなげる 6) フレイル予防の推進 ①健康づくりと介護予防をフレイル予防の観点から体系化し推進（継続） ②フレイルチェック運動の推進と普及（継続） 7) 介護人材の確保のための包括的な補助制度（継続） 8) 国保会計への法定外繰入を継続し国民健康保険料の上昇を抑えること（継続） 9) 「障害者の意思疎通の手段に関する条例」に基づいた障害者施策の推進 ①読み書き支援の継続と読書する権利を保障する仮称「読書権保障条例」の制定（新規） ②障害者サポーター養成講座の拡充（継続） 10) 带状疱疹ワクチン接種に区独自の補助制度（新規） 11) ピロリ菌検査の実施（新規） 12) 補聴器購入補助の拡充（拡充）

13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう	[7] 環境 1) 再エネ電力100%への切り替え促進事業の拡充 2) 区独自に簡易な環境影響評価制度を導入すること（新規） 3) プラスチックごみ削減への取り組み（新規） 4) 食品ロス削減への取り組み（新規） 5) ごみの削減へ2R推進運動（新規）
11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	[8] まちづくり 行政主体のまちづくりから住民主体のまちづくりへ 1) まちづくりのための適正な手続きをルールとして定めること（新規） 2) 区独自に簡易な環境影響評価制度を導入すること（新規）（[7] 環境にも掲載） 3) 老朽化マンションの建替え促進 要除却マンションに対して建て替えへもしくは耐震補強へ指導・勧告ができるようにする（新規） 4) みどり（街路樹）の保護と育成に関する条例の制定（新規） 5) 街路樹の保護と育成マニュアルの作成（新規） 6) 公園整備方針の改訂（新規） 7) 都市計画マスタープランの子ども向け版の作成（新規） 8) 福祉部と連携し「高齢者に必要な住まいの整備」を行う ①サービス付き高齢者向け住宅の整備（新規） ②居住安定法人の区内設置と居住安定協議会の機能強化（新規） 9) 区営住宅に住まわれている方の高齢化に対応するため区営住宅にも生活協力員を配置すること（新規） 10) 国や都と連携した外堀の水質改善（新規） 11) 過度に車に依存した社会から歩いて暮らせるまちづくりへ ①目的を明確にしたコミュニティサイクル事業の推進（拡充） ②道路交通文化の普及（新規） ※「道路交通文化」とは、欧州ではごく普通のこととなっていますが、歩行者、自転車、車の3者の通行区分といったハード面にとどまらず、ソフト面において3者相互の信頼関係が築かれていること。自転車と車が対等な関係を築き、ともに無防備な歩行者を最優先として気遣い、振る舞うことが生活様式として定着しています。
4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう	[9] 文化 1) 条例で保障した区民の文化権を実現するため、子どもから高齢者まですべての区民が文化芸術を創造し享受し、また自主的かつ創造的な文化活動ができるよう施策の推進を図ること ①すべての子どもが文化芸術に触れ、創造できる場の提供（新規） ②アート3331の児童館への出前事業ができるよう予算の確保すること（例えば「かえっこ事業」など）（新規） ③子どもの対話型美術鑑賞の実施（新規） 2) 地域にある文化財の総合調査の実施（継続）

11 住み続けられるまちづくりを 	[10] コミュニティの形成と地域自治 1) 地域の自治を支える拠点としての出張所の予算拡充 地域の自治を支えるということでは出張所の役割はますます重要となっています。改めて主張所の役割を明確にし、必要な予算を措置すること（①コミュニティの拠点、②まちづくりの拠点、③防災の拠点）（拡充） 2) 中間支援組織の活動を支援 社会福祉協議会やまちみらい千代田、そしてシルバー人材センター、図書館、アート3331、生涯学習館、スポーツセンター、エミフルなどを中間支援組織として明確に位置づけ、それぞれの組織の目的や役割を明確した上で事業を推進すること（新規）
8 働きがいも経済成長も  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさを守ろう 	[11] 商工観光 1) 物価高騰対策として消費者へのポイント還元事業の実施。スマホを利用できない高齢者などにも配慮し同額のプレミアムを付けた商品券を発行すること（新規） 2) 関連しての高齢者向けスマホ教室については訪問型も行うこと 3) 物価高騰に苦しむ中小企業並びに個人事業主向け支援策を講じること 4) 防犯カメラ設置に付帯する電源工事の助成（新規）
16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう 	[12] 平和施策 国際平和都市千代田区宣言に謳われた核兵器の廃絶と恒久平和実現への取り組み 1) 今日まで平和使節団また地球市民ツアーに参加された方々による仮称「千代田区平和フォーラム」を開催し「平和への提言」をまとめ発表。 2) 子どもから若い人たちによる平和ミーティング仮称「千代田区ユースフォーラム」の開催
17 パートナーシップで目標を達成しよう 	[13] その他 1) 内部統制方針の策定（新規） 2) 監査制度の充実強化（新規） 3) 区長が作成する「監査結果に基づく措置対応」については具体的に記述すること（改善）